

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業			シート番号	019-108
担当部署名	建設局	局	ニュータウン地域再生室	部	課 評価責任者(課長名) 野津

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	泉北ニュータウンの再生	有
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	泉北ニュータウン再生指針(本市策定)、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン(泉北ニュータウン再生府市等連携協議会策定)、榎・美木多駅前活性化土地利用構想(本市策定)			
5	事業実施の経緯	<p>泉北ニュータウンは、昭和42年のまちびらきから50年以上が経過し、都市基盤や公共施設等の老朽化が進んでいる。加えて、一定期間に同世代が大量に入居した経緯もあり、人口減少及び高齢化は一般市街地に比べ顕著である。</p> <p>現在、泉ヶ丘駅前では近畿大学医学部等の開設を見据えた様々な取組が進められ、榎・美木多駅前では原山公園の再整備等が進められている。これらの動きと連携しながら、駅前の更なる活性化や利便性向上に向け、駅前を中心とした都市基盤の再編整備を行う。</p> <p>また、光明池駅前については、持続可能な駅前に向け関係者が互いに連携し共に行動するための行動指針を策定する。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	泉北ニュータウンに関わる市民、自治会、事業者など			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	泉北ニュータウンの駅前における様々な取組と連携を図りながら、駅前地域の道路や公園、駅前広場等の都市基盤の再編整備を行い、駅前の安全・安心の確保及び利便性向上を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>【泉ヶ丘駅前】</p> <p>①円滑な車両交通のための道路改良 ○三原台1丁交差点等の道路改良を行い、三原台1丁交差点付近の円滑な車両通行空間を創出する。</p> <p>②歩行者通行環境の整備(安全・安心な歩行空間の確保) ○歩行者交通の増加が予想される三原台156号線の道路拡幅等を行い、安全・安心な歩行空間を創出する。</p> <p>③田園・三原公園などの再編整備 ○田園・三原公園等について、地元意見を踏まえながら再編整備を行い、地域の憩い空間を創出する。</p> <p>【榎・美木多駅前】</p> <p>①榎・美木多駅前広場の再編整備 ○関係者(地元・警察・交通事業者)と協議・調整を進め、駅前の更なる活性化や利便性向上に繋がる駅前広場へ再編する。</p> <p>【光明池駅前】</p> <p>①指針策定 ○地域住民、民間事業者、行政等が互いに連携し、共に行動するための行動指針を策定する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	設計業者及び工事業者				

Ⅲ. 投入量

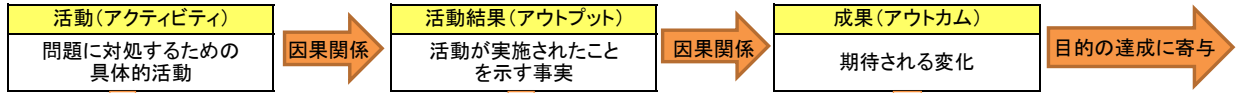
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	千円	16,710	13,198	130,358	78,387	338,783	288,229	1,124,825
主な事業費内訳	泉ヶ丘駅前再編整備事業	千円	-	130,358	43,126	149,635	172,382	819,477
	榎・美木多駅前再編整備事業	千円	-	-	35,261	189,148	110,700	285,470
	光明池駅前再編事業	千円	-	-	-	-	990	7,000
	計画策定等委託料	千円	16,710	13,198	-	-	4,157	12,878
財源内訳	国・府支出金	千円	2,016	1,773	-	12,021	113,042	38,646
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	-	-	-	-	-	-
	市債	千円	-	-	-	12,400	187,600	69,000
	その他(寄付金)	千円	-	290	1,000	506	200	1,525
一般財源	千円	14,694	11,135	129,358	53,460	37,941	179,058	140,399
12 人件費 (b)	千円	32,800	32,800	49,200	49,200	56,700	48,600	49,200
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	49,510	45,998	179,558	127,587	395,483	336,829	1,174,025

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業	シート番号	019-108
-------	------------------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



【14】令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

【15】または【16】に定量的な指標、または定性的な目標を記載

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績					
活動実績と成果	14	<p>【泉ヶ丘駅前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三原台1丁交差点付近を中心に発生している渋滞緩和に向けた交差点改良について、大阪府警本部協議を完了させ、工事発注を行った。</li> <li>安全・安心な歩行空間を確保するため、幅員が狭いくぬぎ橋について、架替・拡幅を行うため詳細設計業務を発注した。</li> <li>田園・三原公園の再編整備に向けた設計業務を発注し、関係者と協議・調整を進めた。</li> </ul> <p>【柵・美木多駅前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前と原山公園を連絡する歩道橋において、民間事業者と調整しエレベーターを設置し、バリアフリー化を図った。</li> <li>駅前に点在する自転車等駐車場について、利用者の利便性向上及び集約化による効率的な施設運営を目的に、自転車等駐車場の新築工事発注を行った。</li> <li>駅前広場の再編に向け、引続き、関係者(地元、警察、バス事業者等)との協議・調整を重ねた。</li> </ul>					
	15	<p>定性的な目標</p> <p>【泉ヶ丘駅前】</p> <p>都市基盤の再編整備に向けた取組 (自動車交通対策) (歩行者通行環境対策) (田園・三原公園等の再編)</p>					
		<p>目標に対する実績</p> <p>業務の発注、関係者との協議実施</p>					
	16	<p>定性的な目標</p> <p>【柵・美木多駅前】</p> <p>(歩行者通行環境対策) (駅前広場の再編) (自転車等駐車場の再編)</p>					
	<p>目標に対する実績</p> <p>業務の発注、関係者との協議実施</p>						

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

### 業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>駅前の安全・安心の確保及び利便性向上に向けた様々な都市基盤の整備に向け、前年度に引続き、関係者(地元、警察、バス事業者等)との協議・調整を進め、工事や設計業務を発注することが出来た。財源については、可能な限り国庫補助金を確保する等、一般税源の縮減に努めている。当事務事業は、様々な関係者と協議・調整を行いながら進めるものであるため、ICTを活用する余地はない。</p>

- 【分析のチェックポイント】
- 事業の達成度はどうでしたか。
  - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業	シート番号	019-108
-------	------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 当事務事業については、民間事業者を含む駅前の様々な取組と連携して進めるものであり、既に民間事業者の取組は進んでおり廃止することは出来ない。 また、人口減少・高齢化の進展が顕著である泉北ニュータウンにおいては、駅前の活性化は重要である。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 民間事業者を含む様々な取組みの計画見直しに直結するため、休止(延期)できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 当事務事業は、道路・公園等の都市基盤整備が主なものであり、必要最小限のコストで検討している。 また、財源についても可能な限り国庫補助金を確保する等、一般財源の縮減に努めている。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 協議・打合せについては、人員を絞るとともにソーシャルディスタンスを確保する等、3密を避ける取組を徹底している。 また、必要に応じてリモートでの協議を実施している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<b>理由・説明</b> 泉ヶ丘駅前では、安全・安心及び利便性向上に向けた歩行者通行環境の整備について、近畿大学と連携を行いながら進めている。 樺・美木多駅前では、駅前と原山公園を連絡する歩道橋のバリアフリー化について、民間事業者と連携し進めた。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 今後、泉ヶ丘駅前、樺・美木多駅前では、設計・工事が集中するため、引続き、国庫補助金等を活用し、財源確保に努める。 泉ヶ丘駅前では令和6年の近畿大学医学部等の開設の動きに合わせて事業実施する必要があるため、スケジュール感をもって計画的に事業実施を行う。 また、樺・美木多駅前では、国庫補助金の充当期間が令和4年度までとなっているため、その期間内に計画的に事業実施を行う。		